

病院前妊産婦 救護に関する シュミレーシ ョンコース BLSO in 高知

このたび、高知医療センター主催で、病院外や救急外来での急な分娩の対応、また産科救急の初期対応までの能力を身につけたい医療者のための Basic Life Support in Obstetrics (BLSO) コースを高知県で初めて開催いたします。

●BLSOプロバイダーコースとは

交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調した、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急看護師、そして救急救命士を対象とした教育コースです。

日本では1年間に734件の施設外分娩事例が救急隊に収容されています(2010年全国消防本部アンケート調査)。外傷でERに搬送される妊婦も珍しくありません。更に東日本大震災での東北大学菅原準一教授らの研究報告では、宮城県内で病院に到着する前の分娩は震災前(2010年)で8件でしたが、震災時(2011年)には23件に著増、妊産婦救急搬送は598件が807件に増加したことが示され、災害医療においても病院前救護を目的とした研修の重要性が指摘されています。

BLSOプロバイダーコースでは、講義&少人数グループによるワークステーションで妊婦の評価、分娩介助、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法、車中分娩などを実践します。

また、コースには筆記試験とマネキンを使用した実技試験が含まれており、試験に合格した場合、American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)、ALSO-Japan が認定する5年間有効な認証を受けることができます。

高知県の分娩施設数は約10年間で半減しており、住居区域外での健診・分娩になっている妊婦が多数おります。また、近い将来、発生するとされている南海トラフ大地震でも、分娩施設以外での分娩が想定されており、今後、産科を専門とする医療従事者以外でも、車中分娩や妊産婦救急に遭遇する可能性が十分あります。

日頃は産科医療に関与していないけれども、車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある、救命救急士、救急医、家庭医、看護師の方々の受講を心よりお待ちしております！

1 BLS0 コースの概要

日時	平成 28 年 11 月 26 日（土）、27 日（日） ※両日とも研修時間は 8:30～17:00 となります （受付 8:00～） ※いずれか 1 日の受講となります。
会場	高知県立大学 池キャンパス（高知市池 2751-1）
募集人員	各日 18 名（高知県の救急医療に関わる医師、看護師、救急隊員）
受講料	15,000 円
テキスト ※各自購入してください	①日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト （監修：細野茂春 発行：メジカルビュー） ②病院前救護のための産科救急トレーニング －妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法 （監訳：新井隆成 発行：中外医学社）
主催	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 総合周産期母子医療センター （H27 年度公益信託高知新聞・高知放送「生命の基金」採択事業）
後援	高知県、高知県産婦人科医会
問い合わせ先	高知医療センター 事務局 経営企画課 河村 TEL (088) 837-3000 FAX (088) 837-6766

2 スケジュール

時間	内容
08:00-08:30	受付
08:30-08:45	オープニング
08:45-10:00	分娩介助
10:10-11:10	新生児蘇生
11:20-12:40	女性傷病者の評価
12:40-13:40	ランチタイム
13:40-14:00	試験準備
14:00-15:00	実技試験①/筆記試験→救急車内分娩①
15:00-16:00	実技試験②/筆記試験→救急車内分娩②
16:10-16:50	症例検討
16:50-17:00	クロージング・写真撮影

※両日ともスケジュールは同じです

3 アクセスについて

会場：高知県立大学 池キャンパス（高知市池 2751-1）



【バスを利用する場合】

- ・ JR高知駅から約30分、はりまや橋から約25分
「高知駅バスターミナル」（5番のりば）、「はりまや橋」（デンテツターミナルビル前）から「望海ヶ丘」「十津団地」行きバスに乗車 → 「高知県立大学」下車

【高速道路を利用する場合】

- ・ 高知自動車道／高知IC（最寄りのIC）から車で約25分
→高知IC下車→五台山方面へ（県道44号線）
→葛島四丁目・高須新町一丁目交差点直進（県道376号線）
→大畑山トンネル（2つめのトンネル）を出て1つ目の信号を右折